

地質調査所研究資料集

この資料集は、地質調査所資料室（電話（0298）54-3605）で閲覧できます。

地質調査所研究資料集 No.183

M.Ujic and S. Togashi (1992)

XRF ANALYTICAL REPORT 2/92, Determination of Rb, Sr, Y, Zr and Ba in igneous rocks using Sc/Mo tube, 25p., 4fig., 2tab.

内容紹介

蛍光X線によるRb, Sr, Y, ZrおよびBaの定量法について報告する。Sc/Moデュアルアノード管球を用い、Rb, Sr, Y, ZrについてはMoK α のコンプトン散乱線、BaについてはMoK α 線による、質量吸収の補正を行った。その結果玄武岩から花崗岩の組成範囲で、良い結果が得られた。この方法を用いて標準資料を分析した結果RbおよびSrで約5%以内、YおよびZrで約10%以内の範囲で文献値と一致した。また、測定で得られるRb/Srの相対誤差は5%以内と見積もられる。

地質調査所研究資料集 No.184

中塚 正 (1992)

国際標準地球磁場IGRFとその計算ソフトウェア(2)。27p., 4fig.

内容紹介

IGRFは、国際地球電磁気学会(AGA)において採択された地球磁場モデルであり、地球内部に起因する地磁気分布の大局的傾向を示すものである。

本資料では、IGRFの1992年現在までの採択の歴史について述べるとともに、IGRF計算の基本式を示してIGRF計算のFORTRANプログラムを提示した。また、それらをフロッピディスク上のファイルに入れて添付した。

本資料は、『地質調査所研究資料集No. 27』に記した同じ主題の改訂版である。

地質調査所研究資料集 No.185

平田岳史ほか8名(1993)

惑星探査ミッションの研究。127p., 73fig., 12tab.

内容紹介

所内シーズ研究「惑星探査ミッションの研究」(平成3~4年度)は、地質調査所が、将来、惑星(月も含む)探査ミッションに係わるとしたら、どのような興味深いテーマがありうるかを検討することを目的として行われた。具体的には他の所内研究テーマと合同で末踏課題セミナーという議論の場を設け、所内外の研究者による発表とフリーディスカッションを行った。本報告書は、このセミナーでの地質調査所の研究グループ員の発表を中心として取りまとめたものである。様々な分野から、9編の報告が掲載されているが、それらの題名は次の通りである。「太陽系物質の化学進化と惑星探査ミッション」「マグマオーシャンは存在したか」「宇宙でできた鉱床?」「小惑星観測の歴史と現状」「月の地質と地形文類図の作成法」「太陽系内の地球以外の惑星・衛星に生命は存在するか」「マッキントッシュを使った画像処理」「Magellan CD-ROMのデータ」「リモートセンシングによる惑星探査」